

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 9 月 19 日(2023.9.19)

【公開番号】特開 2023-53176(P2023-53176A)  
【公開日】令和 5 年 4 月 12 日(2023.4.12)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-068  
【出願番号】特願 2023-19529(P2023-19529)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 9 月 8 日(2023.9.8)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

抽選手段による抽選結果が特定結果である場合に所定の遊技利益を付与する遊技機であつて、

所定の装飾が施された装飾部を備え、

前記装飾部は、少なくとも一方側の面に L E D が実装されており、前記 L E D を電氣的に接続する所定の回路を構成している銅箔を備え、白色のソルダーレジストからなる被覆が施されている基板と、

前記基板の一の面側と対向するように設けられた第一部材と、

前記基板の一の面と異なる他の面側と対向するように設けられた第二部材と、を具備しており、

30

前記基板の形状は、直角四角形とは異なる形状であり、

前記基板は、前記銅箔を設けない特定領域を備え、前記特定領域は、前記基板の外周縁から所定距離よりも内側に前記銅箔が設けられることで前記基板の全周に形成される領域であり、

前記第一部材と前記第二部材と前記基板を組み合わせた状態では、前記第一部材と前記第二部材の一方が他方に嵌入して、少なくとも一部が重なり合うよう構成されてなり、

前記第一部材と前記第二部材と前記基板を組み合わせた状態で重なり合う部位によって生じた経路の長さと、前記特定領域の所定距離とによって、前記装飾部の外部から前記銅箔までの沿面距離を増加させる、

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 2  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 0 2】

従来より、前後に貫通した切欠部を有し表面に金属メッキが施された装飾体と、装飾体の切欠部を閉鎖している透光性を有したレンズ部材と、装飾体の後側に設けられておりレンズ部材を通して前方へ光を照射可能な複数の L E D が実装されている基板と、を備えた遊

50

技機が提案されている（例えば、特許文献１）。この特許文献１の技術によれば、装飾体における金属メッキの輝きにより、装飾体の見栄えを良くすることができると共に、ＬＥＤの発光により装飾体を発光装飾させることにより、遊技者の関心を引付けさせて楽しむことができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１５－２２３４８５号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

ところで、特許文献１の技術のように、表面に金属メッキによる金属装飾部が施されている装飾体では、装飾体の表面において静電気が蓄積されると、金属装飾部の部位では導電性が高いことから、表面の全体に蓄積された静電気が一気に放電されることとなり、放電（スパーク）の電圧（放電圧）が高いものとなる。そして、特許文献１の技術では、金属メッキが施されている装飾体の後側に基板を設けていることから、金属メッキと基板とが可及的に接近しているため、装飾体（金属メッキ）と基板との間で、金属メッキにおいて蓄積された静電気が放電されてスパークが発生する恐れがある。従って、金属メッキと基板との間でスパーク（放電）が発生すると、基板に実装されているＬＥＤ、ＬＥＤドライバＩＣ、抵抗器、等の電子部品が破損してしまい、装飾体の発光装飾（発光演出）を行うことができなくなること、遊技者を楽しませることができなくなつて、遊技者の興趣を低下させてしまう恐れがあった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、静電気が基板へ放電され難くすることで電子部品の破損を抑制することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記した目的を達成するために、本発明においては、抽選手段による抽選結果が特定結果である場合に所定の遊技利益を付与する遊技機であつて、

所定の装飾が施された装飾部を備え、

前記装飾部は、少なくとも一方側の面にＬＥＤが実装されており、前記ＬＥＤを電氣的に接続する所定の回路を構成している銅箔を備え、白色のソルダーレジストからなる被覆が施されている基板と、

10

20

30

40

50

前記基板の一の面側と対向するように設けられた第一部材と、  
前記基板の一の面と異なる他の面側と対向するように設けられた第二部材と、を具備して  
おり、  
前記基板の形状は、直角四角形とは異なる形状であり、  
前記基板は、前記銅箔を設けない特定領域を備え、前記特定領域は、前記基板の外周縁か  
ら所定距離よりも内側に前記銅箔が設けられることで前記基板の全周に形成される領域で  
あり、  
前記第一部材と前記第二部材と前記基板を組み合わせた状態では、前記第一部材と前記第  
二部材の一方が他方に嵌入して、少なくとも一部が重なり合うよう構成されてなり、  
前記第一部材と前記第二部材と前記基板を組み合わせた状態で重なり合う部位によって生  
じた経路の長さと、前記特定領域の所定距離とによって、前記装飾部の外部から前記銅箔  
までの沿面距離を増加させる、

10

ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

( 解決手段 1 )

遊技を行う遊技盤を備える遊技機であって、前記遊技盤が設けられる本体枠と、該本体  
枠に開閉可能に軸支される前枠と、前記前枠に設けられ、前記遊技に関連して発光可能で  
あると共に、当該遊技機に異常または不具合が生じた際に通常時と異なる態様で発光可能  
な複数の発光素子が表実装面に実装される前枠発光基板を備える前枠発光手段と、を有し  
、前記前枠発光基板の表実装面には、白色塗膜と、該白色塗膜上に黄色で形成されて前記  
複数の発光素子それぞれを特定可能な表記部と、が形成され、前記前枠発光手段は、前記  
前枠が開放状態にあるときには、前記通常時と異なる態様で発光していることが前記前枠  
の前方からだけでなく前記前枠の後方からも視認できるように前記前枠に設けられてなる  
ことを特徴とする遊技機。

20

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 5

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 5 】

30

本発明の遊技機においては、静電気が基板へ放電され難くすることで電子部品の破損を  
抑制することが可能な遊技機を提供することができる。

40

50